



# ストリートチルドレン芸術祭

Art of the Children Living on the Street  
-あなたがいてくれてよかった-

ホーム  
Home

芸術祭とは  
About

活動報告  
Report

チャリティカレンダー  
Calendar

イベント情報  
Events

こどもたちの絵  
Children's Pictures

協力する  
Cooperate

## チャリティカレンダー制作

- ▶▶ 2012年
- ▶▶ 2011年
- ▶▶ 2010年
- ▶▶ 2009年
- ▶▶ 2008年
- ▶▶ 2007年
- ▶▶ 2006年

## 活動報告

- ▶▶ チャリティカレンダー制作
- ▶▶ 原画展・イベント
- ▶▶ ストリートチルドレン支援
- ▶▶ 3.11震災復興支援
- ▶▶ スタディツアーのご報告

## 2010年チャリティカレンダー

このカレンダーは、熱海市立小嵐中学校とこどもたちを支援する各国のNPO・NGO団体の協力のもと、ストリートチルドレン芸術祭実行委員会が制作しています。2010年版カレンダーの応募では、カンボジア、ベトナム、フィリピン、バングラデシュ、チベット（インド・ダラムサラ）、インド、モンゴル、メキシコ、グアテマラ、ケニアから作品が集まりました。作者は幼児から18歳程度までの幅広い年齢のこどもたちで、現在または過去に路上で生活した経験をもったり、経済的な事情から親元を離れて施設で生活しています。作品を選出してくださった選考者の皆さまには、無償でご協力いただいています。



## 2010年カレンダーに使用された絵

2010年カレンダーに使用された絵とお寄せいただいたコメントをご紹介します。



「Adobe Flash Player」のサポートは終了しました

### 1月「私の夢」

メフィ・ボセット（14歳・男の子・グアテマラ）

両親はなくなった。絵の中に描かれている夢は、友だちみんなの家。





選考者  
(選考理由・  
コメント)

山本博さん

(日本体育大学女子短期大学部准教授

／アテネオリンピックアーチェリー銀メダリスト)

輝く太陽の日差しが、子どもたちが集う赤い家の窓に射しこめています。友だちが家族となり、家族が一つとなり、共に過ごせる家に住む。家がみんなの幸せを育む大切な場所であることに気がつかせてくれる作品です。

## 2月「僕の好きな動物」

アルフ・リティ (8歳・男の子・カンボジア)

ぼくはCCHで暮らしています。ネズミはネコを恐れます。



選考者  
(選考理由・  
コメント)

木村裕一さん (絵本作家)

“ねこさん、どうかあのねずみを許して下さい”と、ニワトリが言っているのだろうか。それとも……。とにかく作家心をくすぐる絵である。動物たちの表情も面白いし、動物の身体もよく観察して描けている。

## 3月「デザイナーになりたい」

グエン・ティエ・ガー (14歳・女の子・ベトナム)

父親は死亡。母親は再婚。フエに住んでいる遠縁の家族と一緒に暮らしていました。現在、ベトナムの「子ども家」を支える会が運営している“子ども家”で生活をし、夢の現実に向けて一生懸命勉強しています。将来の夢は、デザイナーになることです。私がデザインをした洋服で、世界中の人たちに夢と希望を届けたいです。



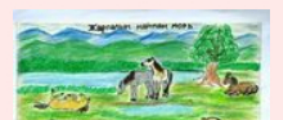
選考者  
(選考理由・  
コメント)

長山藍子さん (女優・熱海市立小嵐中学校OG)

選出した絵は「デザイナーになりたい」という作者のこどもの夢が描かれています。夢の持つ豊かなパワー&エネルギーを感じました。様々な境遇にあるこどもたちが、いつまでも「夢」や「希望」を持ち続けられる社会になりますように。私も1年間通った、小嵐中学校の後輩たちが立ち上げたチャリティカレンダーづくりに参加できて、とても嬉しく思います。

## 4月「幸せの8頭の馬」

ガンボルド (11歳・男の子・モンゴル)





選考者  
(選考理由・  
コメント)

上野由岐子さん (ソフトボール・北京オリンピック金メダリスト)  
モンゴルの雄大な自然が描かれていてとても幸せそうな様子に感動しました。絵の色使い、線の1本1本に気持ちが込められている感じがしました。

#### 5月「10年後の私 お医者さん」

ショマ (8歳・女の子・バングラデシュ)

私の夢はお医者さんになって、病院で働くことです。絵が赤くなっているのは血です。皆さん私の絵を見てくれてどうもありがとう。



選考者  
(選考理由・  
コメント)

北川悠仁さん (ミュージシャン「ゆず」)  
今年で5回目の参加となりますが、毎年いろんな絵を見て感動します。今年はキャンパス全体を赤に塗っているこの絵に惹かれました。赤い幕の向こうには、虹や花やお家、希望に満ちたものがたくさんあります。とても心奪われた作品でした。

#### 6月「人生はゲーム」

ヘスース・カストレホン・エルナンデス (16歳・男子・メキシコ)

ぼくが熱中するものの1つはサッカーです。ぼくがボールをあやつると人々がぼくを見るのも好きです。将来はプロ選手になりたい。



選考者  
(選考理由・  
コメント)

岡田武史さん (サッカー日本代表監督)  
私がサッカーをやっているからだけでなく、ぼっと見て明るく楽しんでいる感じが伝わってきました。大変な生活の中でも、夢や明るさを失わず、ボールを蹴って楽しんでいることもたちが目に浮かびました。

#### 7月「(無題)」

テンジン・ダオ (14歳・男子・インド在住のチベットの子ども)

インドのデリーから約220kmの町デラドゥンにある、T.C.Vセラクイ校の生徒による作品。両親はダラムサラに暮らす。姉が1人いる。彼は、亡命2世



選考者  
(選考理由・  
コメント)

笑福亭鶴笑さん  
環境落語を通して森の大切さを語っていますが、心にメッセージを伝えるのは難しいです。でもこの絵からは、1本の木でさえ花を咲かせ実を付け沢山の虫や動物が楽しく暮らせる環境を作ってくれているのが伝わってきます。

8月「自然を愛することは人生を愛すること」

イム・スロス（13歳・女の子・カンボジア）

自然は全ての生き物にとってとても大切です。大切に維持していきましょう。



選考者  
(選考理由・  
コメント)

竹下景子さん(女優)

赤い服の少年と1本の樹。互いに手を携えて大地をふみしめ立っています。明日を見つめて立っています。彼が大人になる頃には、カンボジアの国土に緑と人々の笑顔が戻ってくることを願ってやみません。

9月「(無題)」

ロド・ギャルツェン（性別年齢不明・インド在住のチベットの子ども）

2009年2月までT.C.Vセラクイ校に在籍。2009年3月よりT.C.Vダラムサラ校へ転校。



選考者  
(選考理由・  
コメント)

野口健さん(アルピニスト)

ネパールも長い間、内戦状態だった。多くの人が血を流してきたが、そんな中でも頑張ってきた子どもたちがいる。少年の目には、それらの光景は、地球そのものの姿に見えたのだろう。少年の絵には、悲しい出来事がありながらも、生きていかなくてはいけない、強い意志が伝わってくる。

10月「(無題)」

ペマ・ドルカー（15歳・女の子・インド在住のチベットの子ども）

インドのデリーから約220kmの町デラデウンにある、T.C.Vセラクイ校の生徒による作品。7人兄弟の3番目。両親は、農業をされていて、家族は今もチベットに暮らしている。2002年に妹とふたりでヒマラヤを越えてインドのスジャへ来た。



選考者  
(選考理由・  
コメント)

イルカさん(シンガーソングライター/IUCN(国際自然保護連合)親善大使)

菩薩様は、我よりも子を思う母心。いつも、人々を愛で包んでいらっしやる。「なのに、なぜ戦(いくさ)ばかりか……」と半跏思惟のお姿で……

11月「(無題)」

名前不明(ケニア)

※この作品は北川悠仁さんとスタッフの方々がNHK番組でケニア訪問時に、ケニアの子どもたちから渡してもらった作品の中のひとつです。



選考者  
(選考理由・  
コメント)

高橋尚子さん (シドニーオリンピックマラソン金メダリスト)

人間だけでなく、地球にあるすべてのものと仲良くしたいという気持ちが強く表れている、そんな印象を持ちました。楽しい毎日を願うだけでなく、もっと大きな視点で世界を見ようとしている子どもの心の強さ、広さを感じました。この絵を見た私たちが、世界平和について考えさせられる、素敵な絵だと思います。

## 12月「オウム」

アルカ・クマリ (年齢不詳・女の子・インド)

ブッダガヤ・カトワセンターで学んでいる。



選考者  
(選考理由・  
コメント)

緒方貞子さん (独立行政法人国際協力機構理事長)

貧困や戦争で特に被害を受けるのは女性や子供たちです。彼らが様々な恐怖や欠乏から解放され、人間としての尊厳が尊重される社会を、世界の人々と一緒に造っていきましょう。

## 表紙「世界はあなたの手の中に」

フェアリス (15歳・女の子・カンボジア)

人間は、世界の所有者のように見えるけれども、そうではありません。新しい技術や経済の競争は世界の環境を悪化させています。でも私たちは持続できる環境を考慮しながら競争することができるはず。それに持続できる環境は、いわゆる地球温暖化という気候の変化から世界を救うこともできるのです。つまり、人間自身の選択によって世界の未来が決められるのです。



選考者  
(選考理由・  
コメント)

熱海市小嵐中学校

手のひらに広がる自然や生き物。その優しさや温かさに人は生かされているのだと思います。また、失われつつある自然を人間の手で造り上げようとする決意のようなものが伝わってきます。世界中のストリートチルドレンの心がこの絵のように温かい優しさにあふれることを願っています。

## ストリートチルドレン支援団体一覧

ベトナム	ベトナムの「子どもの家」を支える会
バングラデシュ	エクマットラ
カンボジア	幸せの子どもの家 (CCH)

フィリピン	カンルンガン・サ・エルマ
モンゴル	エルデネバットさん
インド	ミネハハ・ヘルピング・フリー・エデュケーション・センター
インド(ダラムサラ)	T C V (チベット子供村)
インド(ダラムサラ)	ニントプリン
グアテマラ	モホカ
グアテマラ	カステイージョ
グアテマラ	N.P.H「私たちの小さな兄弟たち」
メキシコ	カンルンガン・サ・エルマ



**ストリートチルドレン芸術祭**  
 Art of the Children Living on the Street  
 -あなたがいてくれてよかった-

個人情報の取り扱い  
 サイトについて  
 スポンサーの皆様

お問い合わせ  
 リンク  
 サイトマップ